

内部統制・情報セキュリティ

■企業の持続的活動を目指して

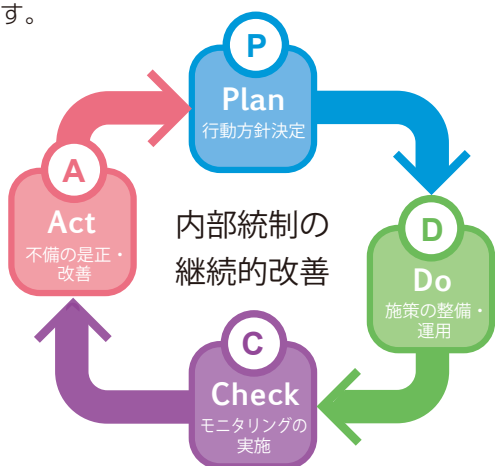
2006年5月の「会社法」施行に伴い、「内部統制システム構築の基本方針」およびTOAグループ「企業行動規範」を取締役会で決議しました。

その主な内容は

- ①コンプライアンスの徹底
- ②リスク管理体制の整備
- ③財務情報など企業情報の適正開示

であり、これらの方針の実現に向けて「PDCAサイクル」を適切に回すことができるよう内部統制を整備し、その有効性を内部監査部門が継続的に評価する体制を構築して、TOAグループ全体で取組みを進めています。

当社は、今日の企業経営にとって内部統制の充実やリスク管理体制の構築が企業存続の絶対的条件ととらえ、積極的な取組みを行なうことにより、健全な企業経営を継続し、企業価値の向上を目指しています。



■情報セキュリティ向上への歩み

2005年1月に「情報セキュリティ委員会」を設置して、情報セキュリティの向上に取り組んでいます。2005年4月に情報セキュリティ確保に向けての意思表示を「情報セキュリティ宣言」として社内外に宣言しました。

具体的な活動として「情報セキュリティ基本方針」の策定（第2版2006年4月）、「情報セキュリティ管理規程」をはじめとする各種規程類の整備を順次進めています。全社員への研修も随時実施していますが、2008年度からはe-Learning（インターネット等を使った教育形態）による情報セキュリティ研修を実施し、社員が自分の都合に合わせて研修を受講できる環境を構築しました。

また、社員各個人が行動すべき事柄をわかりやすくまとめた「情報セキュリティハンドブック」（2008年改訂予定）の作成を行ない、全社員に配布しています。日常業務のなかで情報セキュリティに留意すべき事柄と対応する行動が具体的に記述されています。

■情報セキュリティにおける重点事項

- お客様情報および個人情報を含めた当社が保有する情報を、適切に維持管理します。
- 業務運営に係わる関係者全員で取り組む体制を構築しています。

MY OPINION ——従業員の声——

創業100周年に思う

本社 建築事業本部 法人営業部 菊島 孝子



当社の土木分野と異なり、建築分野の営業では「当社がどのような会社か」をお話することから始めなければならないことが、時としてあります。創業100周年を機に作成された社史をお客様に持参した際、多くの方々が「歴史のあるすばらしい会社ですね」、「あらためて御社の歩みを知りました」と異口同音に話されるのを聞き、当社を理解していただくことの重要さと難しさを強く感じました。

耐震偽装問題、法令順守等、企業の社会的責任が強く求められるなか、お客様は大切な資産を投資する先として、信頼に足る会社か否かを厳しく選別していると感じます。高い技術力・提案力のもとより、環境や地域への配慮、そこに働く私たち一人ひとりも、お客様の判断の対象となっていることに身の引き締まる思いがします。

これまでの100年は諸先輩方が努力して培った「信頼」。今後の100年「NEXT100」は私たちがその宝を引き継ぎ、「信頼される企業」としておのの分野で積極的に活動していくことになりませんが、こうした「信頼に応えられる企業」であることをお客様に最大限PRすることができればよいと思います。